



学習プログラム開発の理論

【研修のねらい】

- 本年度実施した事業について，学習プログラムシートに整理することで，事業の目的や目標，成果や課題等を明確に捉える。
- 事業の来年度以降の実施に向けて，まちづくりの視点も加味したリデザイン案を考える。



講義・演習の流れ

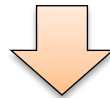
時間	主な内容	
10:30～ 11:05	講義①	○学習プログラム開発の理論
11:05～ 11:15	講義②	○北広島町が目指す生涯学習・ 社会教育について
11:05～ 11:15	演習①	○本年度実施した事業の整理
12:00～ 13:00	(昼休憩)	
13:00～ 14:20	演習②	○事業のリデザイン案の検討

講義①

学習プログラム開発の理論

生涯学習とは

生涯学習とは、自己の充実や生活の向上のために、**人生の各段階での課題や必要に応じて、あらゆる場所、時間、方法により学習者が自発的に行う自由で広範な学習**のことである。



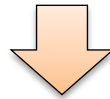
人々が生涯にわたって行うあらゆる学習

教育基本法 第三条(生涯学習の理念) **※平成18年改正時に追加**

国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。

社会教育とは

社会教育とは、教育のうち、**学校又は家庭において行われる教育を除き、広く社会において行われる教育**のことである。



学校教育・家庭教育以外の組織的な教育

教育基本法 第十二条（社会教育） **※平成18年改正時に改正**

個人の要望や社会の要請にこたえ、社会において行われる教育は、国及び地方公共団体によって奨励されなければならない。

2 国及び地方公共団体は、図書館、博物館、公民館その他の社会教育施設の設置、学校の施設の利用、学習の機会及び情報の提供その他の適当な方法によって社会教育の振興に努めなければならない。

「個人の要望」と「社会の要請」のバランス

個人の要望

- 住民のニーズ, 興味, 関心, 願い

(例)

英会話, 読書, 地域の歴史, 自然観察, 茶道, 俳句, 将棋, 音楽, 美術, カメラ, パソコン, ハイキング, 自然体験, 親子キャンプ, 子育て, 介護, 料理, 読書・・・等

社会の要請

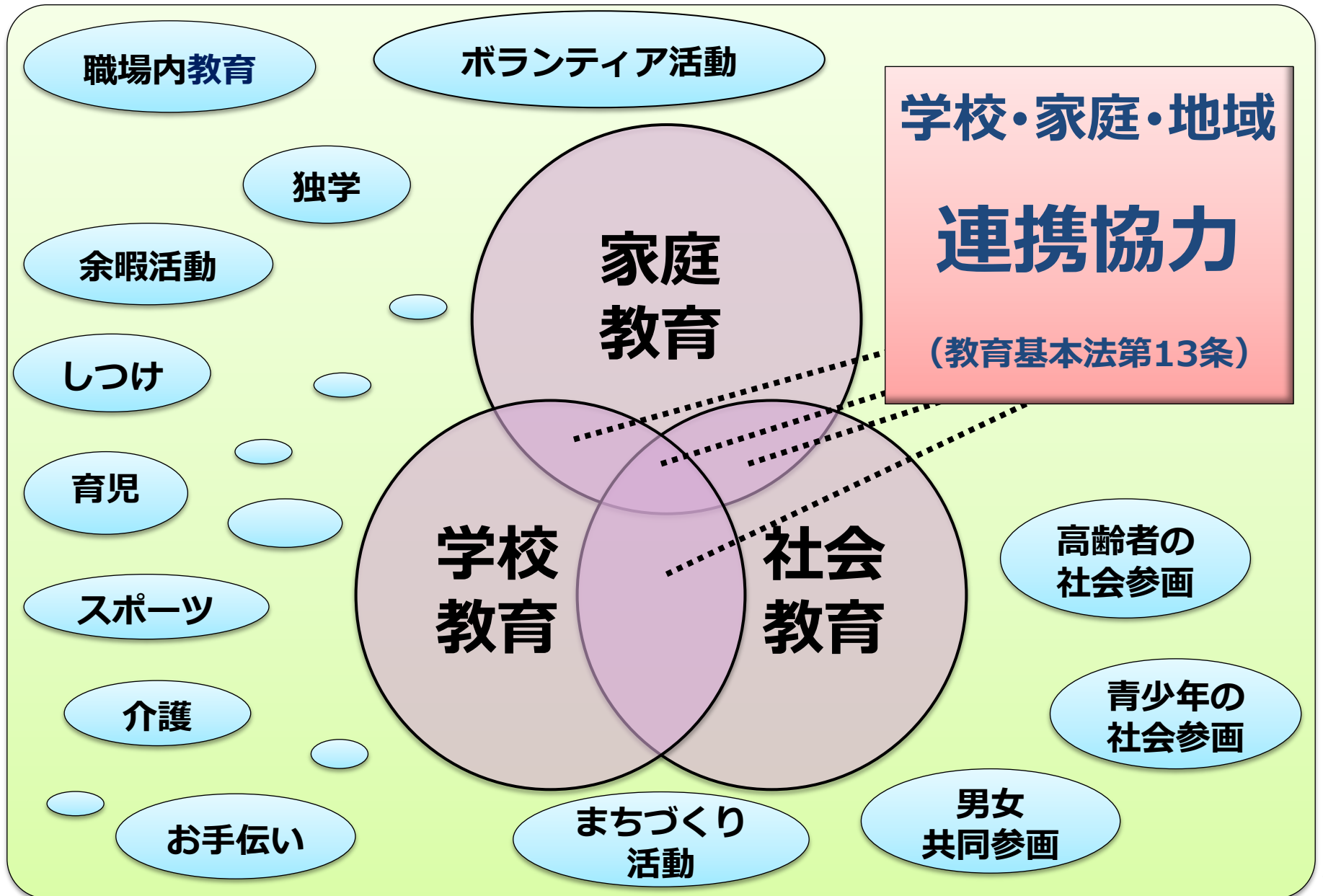
- 行政として取組まなければならない社会の存続や発展にとって必要な課題

(例)

- 人口減少
- 高齢化
- 人材や後継者の確保
- 就業者数の減少
- 公共交通網の拡充
- 情報通信基盤の整備
- 防災体制の更なる強化

事業や講座 (両者の**バランス**が大切)

生涯にわたる学習（概念）



学習プログラムとは

広義の学習プログラム

年間事業計画

〇〇〇年間事業計画

1. 町民憲章
2. 社会教育目標
3. 社会教育行政目標
4. 計画

事業名	趣旨	対象	会費	備考
〇〇〇	〰〰〰	成人	〇〇〇	
〇〇〇	〰〰〰	成人	〇〇〇	〰
〰	〰〰〰	青年	〇〇〇	〰
〰	〰〰〰	成人	〇〇〇	

個別事業計画

□□□セミナー

1. 趣旨: _____
2. 主催: _____
3. 対象: 成人
4. 会場: 〇〇公民館
5. 回数: 全5回(1回2時間)
6. 展開

回	内容	予定	講師
1	〰〰〰	〇〇〇	〇〇〇
2	〰〰〰	〇〇〇	〇〇〇
3	〰〰〰	〇〇〇	〇〇〇
4	〰〰〰	〇〇〇〇	〇〇〇
5	〰〰〰	〇〇〇	〇〇〇

各回の実施計画

「テーマ: 〇〇〇〇〇〇」

時刻	内容	留意点
〰	〰〰〰	〰〰〰
〰	VTR	〰〰〰
〰	説明	〰〰〰
〰	〰〰〰	〰〰〰
〰	発表	〰〰〰

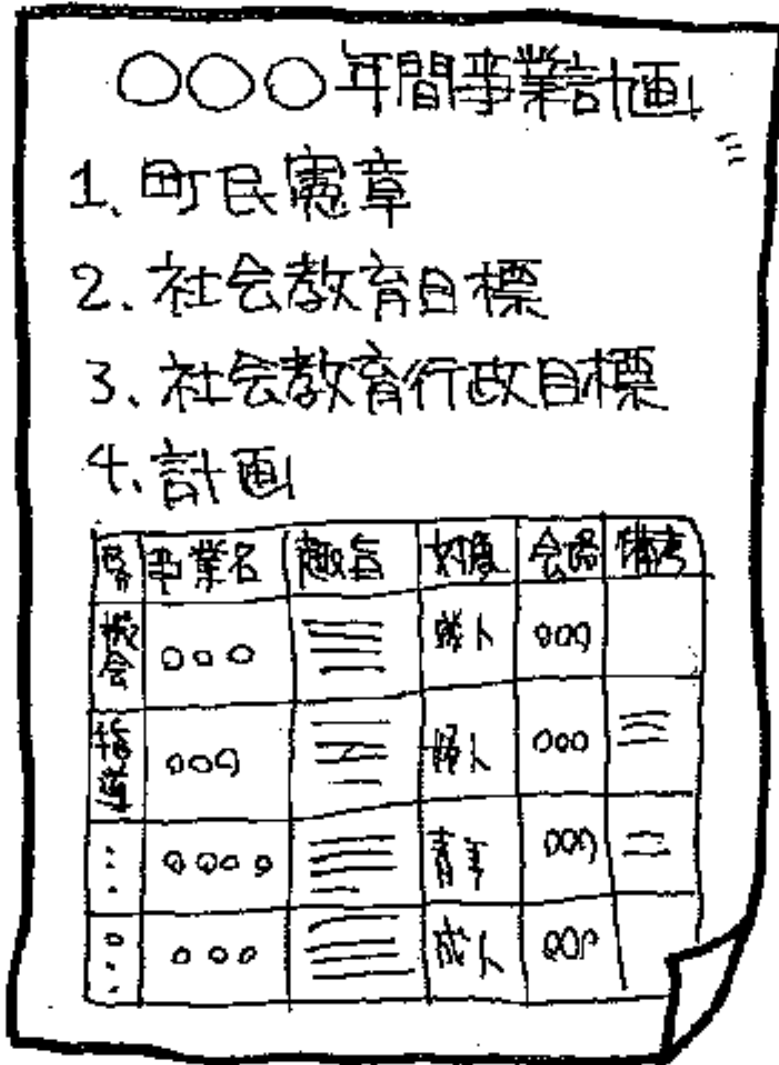
教材: 〇〇〇〇〇〇

用紙の3/4

会場:

狭義の学習プログラム

年間事業計画



- 1年間に行われるすべての事業(学習機会や学習支援)をまとめた実施計画

(例)

「〇〇町家庭教育支援年間計画」

個別事業計画（狭義の学習プログラム）

〇〇〇セミナー

1.趣旨: _____

2.主催: _____

3.対象: 成人

4.会場: 〇〇公民館

5.回数: 全5回(1回2時間)

6.展開

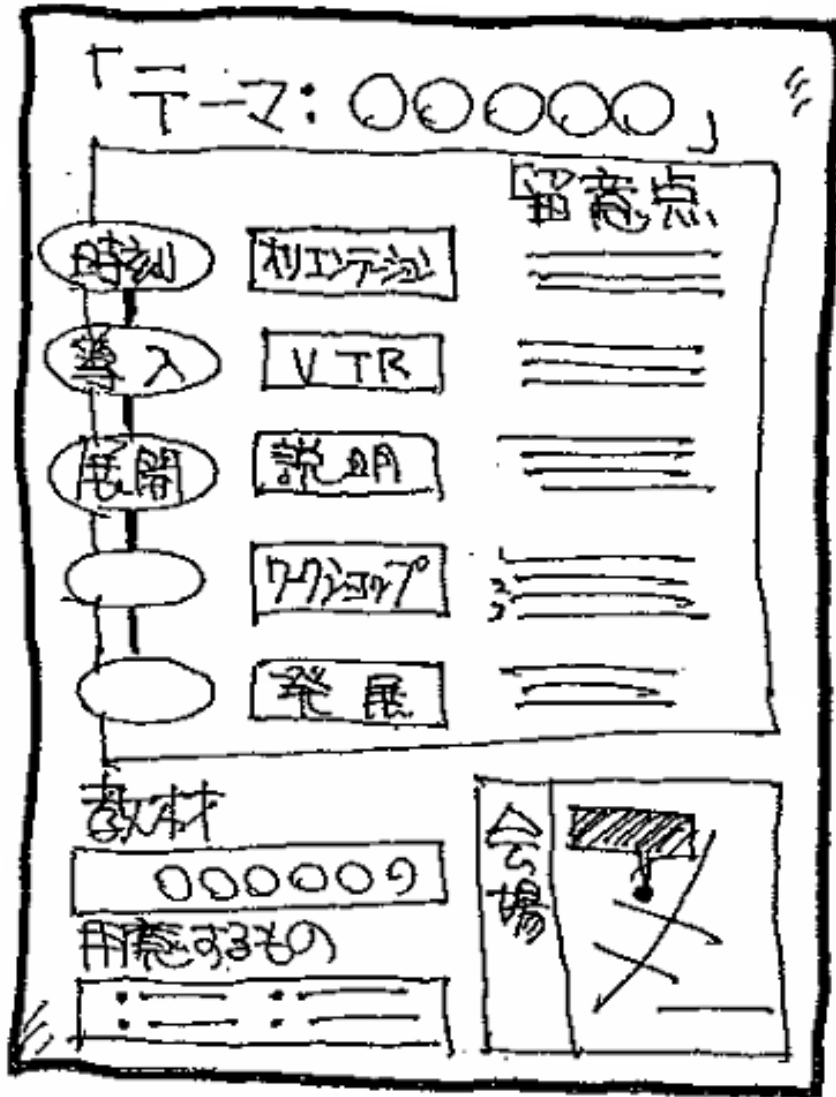
	子マ	内容	日連	資料	講師
1	〇〇〇	=====	〇〇〇	-----	〇〇〇
2	〇〇〇	=====	〇〇〇	-----	〇〇〇
3	〇〇〇〇	=====	〇〇〇	-----	〇〇〇
4	△△△△	=====	〇〇〇〇	-----	〇〇〇〇
5	-----	=====	〇〇〇	-----	〇〇〇

○個々の事業ごとに作成される運営計画

(例)

「親の力をまなびあうセミナー」
「親子ほっこりキャンプ」

各回の実施計画



- 各回ごとの詳細な活動内容や順序, 流れ等が示されたもの

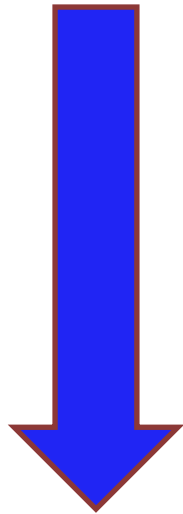
(例)

「第1回セミナー実施計画」

個別事業計画＝学習プログラム

定義

- 集合的な学習機会（学級・講座，行事，集会等）において，人々の学習を具体的な活動レベルで，どんな目標のもとに，どういう活動を，どんな順序で行い，どんな学習成果を生み出す（学習者の態度変容をもたらす）か，という一連のプロセスに関連する学習活動計画をまとめたもの。



個別事業計画（狭義の学習プログラム）

□□□セミナー

1.趣旨: _____
2.主催: _____
3.対象: 成人
4.会場: ○○公民館
5.回数: 全5回(1回2時間)
6.展開

回	テーマ	内容	所要	講師
1	○○○	○○○	○○○	○○○
2	○○○	○○○	○○○	○○○
3	○○○	○○○	○○○	○○○
4	○○○	○○○	○○○	○○○
5	---	○○○	○○○	○○○

○個々の事業ごとに作成される運営計画

(例)

「親の力をまなびあうセミナー」
「親子ほっこりキャンプ」

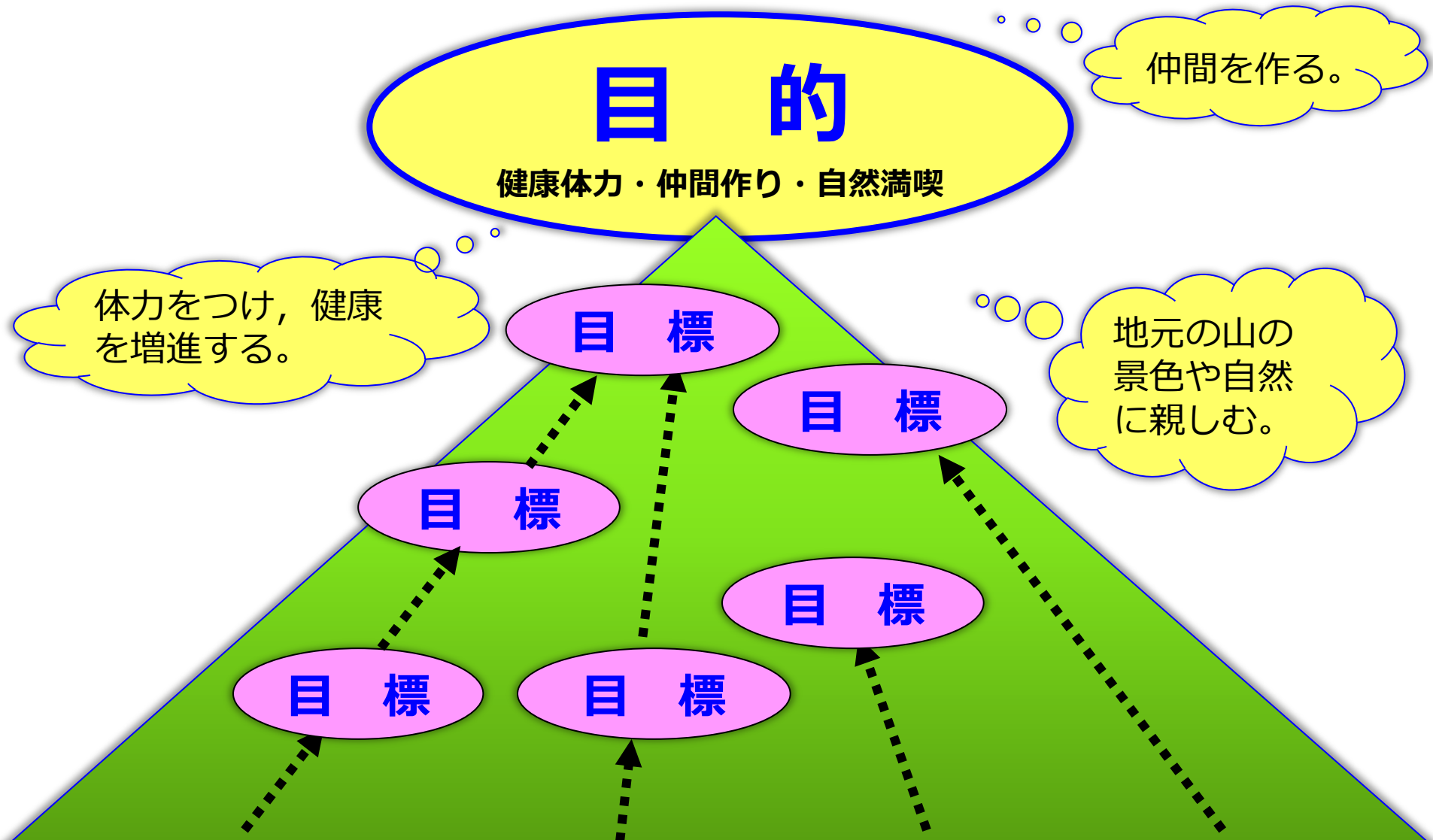
7

住民の生活を支援するための計画

学習プログラムの構成要素

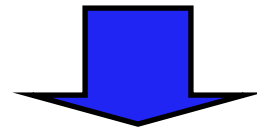
- どのようなことを**目的**とし
- どのような**目標**をもって
- どのような**活動**を
- どのような**順序**で行い
- どのような**学習成果**を生み出すか
(学習者の意識や態度, 行動の変容をもたらすか)

学習プログラムの目的と目標の関係



地域課題

- 地域住民の求めに応じていくべき課題
- 地域で解決しなければならない課題



学習目的

- 地域課題を解決することにより、
どのような状態に変えたいのか。

住民自らが、学びを通して地域の問題・課題を解決するための「学び」の場づくり

学習目的の設定

学習目的

(地域課題解決の方向性を示す)

どのような課題を、どのような状態にするのか？

地域課題を

こうなしてほしいという
理想的な状態を考えてみる。

**学習目的例：▲▲（地域課題）を●●●（意図）
ようにする。**

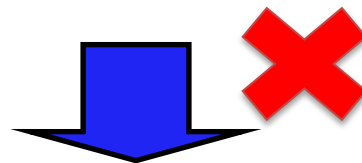
※「●●●ようにする」の部分は、理念的なものでもよい。

- ・豊かな心を育てる。
- ・道徳心を養う。
- ・仲間意識を育てる。
- ・人材を育成する。
- ・ネットワークを形成する。
- ・地域の活性化を図る。

学習目的の設定

地域課題

地域の中心となって流れている、ぱれっと川が汚れているが、地域住民が川を取り巻く環境問題について、自分たちの生活に関連付けて生活していない。



浄化設備を設置し、
専門職員がゴミ拾い
やパトロールを行う。

「社会教育」では解決できない？

学習目的

かつて地域資源であったきれいな川を取り戻すために、地域住民が一体となり「川をきれいにする」といった気運を高め、ネットワークの構築をはかる。

【例】 ▲▲（地域課題）を ●●●（意図）
ようにする。

学習目標の設定

具体的に事業の目標を文章化する。

学習者に、どのような活動によって、
どのような**知識**や**技能**を身につけて
もらいたいのか。また、学習者の、
どのような**意識**を向上させ、価値観
を養ってもらいたいと考えているか？

- ア 知らないことを知るようになること **知識**
- イ できないことができるようになること **技能**
- ウ 意識が変わること **意識**

学習目標

(例文)

「ぱれっと川の歴史や生物の生息について学ぶことで、川をきれいにする重要性を理解する。」

「住民同士の交流を通して、ぱれっと川の魅力や植物等の地域資源の活用について知ることができる。」

「・・・を学ぶことによって、○○について理解できるようになる。」

学習目標

(例文)

「地域住民みんなが一緒に清掃をすることにより、川の環境を整えることができる。」

「住民同士の関係がよくなりお互いの気持ちを伝え合うことができるようになる。」

「・・・を体験することによって、○○○について表現できるようになる。」

学習目標

（例文）

「子供達と共に楽しく川の清掃活動を行うことにより、ごみ問題や環境保全の意識が高まり、地元の川の美しさを守りたいという、愛着が生まれる。」

「川を大切に作る活動を通して、将来的に川をきれいに保とうという思いが芽生え、地域同士の連帯感を高める。」

「・・・に参加することによって、○○○への考え方（意識）を広げる。」

学習目標の設定

- ア 知らないことを知るようになること 知識
- イ できないことができるようになること 技能
- ウ 意識を変えること 意識

ウ意識を必ず1つは入れる。

★学習目標は2つ以上設定

★生涯学習・社会教育の場合は、**ウ意識**が重要

- 主語は必ず参加者
- 目標は必ずそのプログラム内で達成できるもの
- 達成したかどうかを確認できるもの

学習プログラムの企画・立案・評価の過程

P L A N

学習ニーズの把握や対象の分析



目的, 目標, 対象, 学習内容・方法,
時期, 会場, 回数等を定める。

D O

実施・運営

会場, 設備, 資料準備, 役割分担確認等

C H E C K

プログラム評価,
学習成果の評価 等



A C T I O N

プログラムの分析・改善, 一般化

学習プログラム開発の進め方

(学習目的と学習目標の設定)

テーマ

①個人の要望 ②社会の要請

③地域課題の発見・分析

④学習目的の設定

⑤学習目標の設定

(個別事業計画)

- ・プログラム名・対象・定員
- ・参加費 ・事前に必要な知識や準備物
- ・留意点・学習プログラムの展開
- ・評価 (振り返りの方法)

展開

回 日程	学習 テーマ	各回の学習目標 (○)と学習内容	学習 方法	学習 場所	学習 資源

(各回の実施計画)

- ・準備物 ・会場図
- ・タイムスケジュール

実施計画

時刻	内容	留意点

講義②

北広島町が目指す 生涯学習・社会教育について

演習①

本年度実施した事業の整理

演習①の流れ (時間は目安)

○演習①の説明

5分

①シートの記入 (個人)

15分

②シートの確認

15分

③シートの交流 (グループ)

10分

シートの完成

演習① 本年度実施した事業の整理

テーマ：地域資源の掘り起こしと活用 対象：地域住民 主催：北広島町豊平地域づくりセンター

1-⑤ 森の学校ごっこ in とよひら

地域を学ぶ	—	地域でつながる	○	地域に還す	○
-------	---	---------	---	-------	---

1 学習プログラムの展開

日程	場所	学習・活動内容
令和元年 10月20日(日) 9:10~15:00	ろうきん森の学校 (ひろしま自然学校)	○朝礼(開校式)とラジオ体操 ○50分×4コマの授業(午前・午後:各2時間) ・参加者が申し込んだ授業(希望)に参加

教室	1時間目(午前)		2時間目(午前)	
①	国語	森を書こう	生活	木の葉のファッションショー
②	図工	森の妖精を作る	生活	フェイスマッサージ
③	英語	私のアメリカ駐在生活	生活	セルフヘアカット
④	生活	アウトドアでアクシデント	体育	空手
⑤	社会	「今吉田」の幕開け	図工	風車でエコな工作
⑥	家庭	藍染体験	家庭	豪快!!男の料理

教室	3時間目(午後)		4時間目(午後)	
①	国語	森の絵本のおはなし	体育	森の中で忍者ごっこ
②	技術	モグラびっくり風車	理科	電気の話
③	国語	文字の不思議	音楽	万代池でミュージカル
④	生活	へんりな風呂敷	図工	森のステンシル
⑤	音楽	森の中でウクレレを弾いてみよう	家庭	自家製手造り味噌
⑥	理科	野鳥もチキンも大好き	家庭	ピザ×10



対象	○豊平地域にお住まいの方(地域外の方も可)
経費	○参加費:500円(弁当代300円,保険料200円,各授業の実費) 講師謝金:0円
連携先	NPO法人ひろしま自然学校, ろうきん森の学校, きたひろネット

問合せ先 北広島町豊平地域づくりセンター
〒731-1711 山県郡北広島町戸谷 1113
電話:050-5812-4020 ファクシミリ:0826-83-0033

2 講座設定の理由(学習の目的)

- 少子高齢化で過疎化が進む中,地域の施設や人材を生かして住民が学び合いながら集える場を設定する。
- 地域の住民が先生となり,それぞれの特技を生かすとともにそのノウハウを住民に提供し,「楽しく生きる」ことを通して,地域の活性化を図る。

3 学習目標

- 学校ごっこに参加することを通して,協働によるまちづくりへの関心や,地域で楽しく暮らそうとする意欲を高める。
- 地域に暮らす住民から様々な知識や技術を学び生活への糧にするとともに,自分の特技を地域へ披露したり提供したりしようとする心情を育てる。

4 事前に必要な知識や準備物

- テント,ブルーシート(ろうきん森の学校から借用)
- 各教室の講師となる人材(ボランティア)の発掘と依頼
- 町広報誌やケーブルテレビ等を活用した広報

5 留意点

- 地域へ出向き,日常的に交流しながら講師(ボランティア)を発掘する。
- 町内他地域の行事等と日程が重ならないようにする。

6 成果

- 地域住民同士のふれ合いを通して,ネットワークを築くことができた。
- 地域住民の特技を披露する場を提供することができた。
- 老若男女を問わず地域住民が交流する場を提供することができた。

7 課題

- 会場の使用可能日が限られており,日程変更が難しい。
- 一年あたり複数回の開催が難しい。

8 今後に向けて

- 来年度も同時期に森の学校ごっこを開催できるよう,地域住民と連携を継続する。
- 学習内容について検討(新規・継続)し,地元ボランティアの発掘を行う。

演習②

事業のリデザイン案の検討

演習②の流れ（時間は目安）

○演習②の説明

10分

①事業のリデザイン（見直し）

45分

②リデザイン案の交流

30分

発表5分 相互評価（質疑応答）2分×4地域センター

シートの完成

演習② プログラムのリデザイン案の検討

テーマ： _____ 対象： _____ 主催： _____

地域を学ぶ	地域でつながる	地域に還す
-------	---------	-------

1 学習プログラムの展開

日程	場所	学習・活動内容
		ひろみらいノベーションスタジオ (1/23より) NPO法人プラス・アーツ 理事長 永田 宏和 +クリエイティブ 魅力化する。 「新しい何かを創り出す」 楽しい, 美しい, 感動的, 非日常的, 夢のような, ワクワクする, カッコいい これまでの事業やプログラムを・・・ <ul style="list-style-type: none">・根本から考え直してみても・既成概念にとらわれず・広い視野で・違う角度から・情熱と愛情をもって 考えてみるのが大切。

問合せ先 〒 _____ 電話： _____ ファクシミリ： _____

2 講座設定の理由(学習の目的)

※地域課題の方向性を示しているか。

3 学習目標

※プログラム内で達成できるか。
※知識・技能に偏ってないか。「意識」

4 事前に必要な知識や準備物

5 留意点

6 成果

7 課題

8 今後に向けて

演習② 点検シートの活用

☑ 学習プログラムのチェックポイント

- ① **対象者**の範囲や人数，会場，場所，回数，日程が適切に設定されているか？
- ② 目的を達成するための**目標**になっているか？
- ③ **学習者を主体**にした**具体的でわかりやすい言葉**で目標が示されているか？
- ④ 学習者にとって**魅力的な内容**になっているか？
- ⑤ **プログラム名**は，人を惹き付けて，内容が分かるものであるか？
- ⑥ プログラムの順序やつながりは適切か？
- ⑦ **参加者の振り返り**を促す工夫がされているか？

振り返り

今回の研修で学んだことは、明日からの仕事に役立つものになりましたか。



今後、機会があれば受けてみたい研修（内容）はありますか？

みなさま、お疲れ様でした。



アンケートに御協力ください。

